

平成29年度第1回研究会／小委員会活動報告

# 2016年熊本地震による 被害調査・分析小委員会

## 目的

2016年熊本地震の被害状況を幅広く集約し、分析を行い、今後の内陸直下型地震に対する地震災害軽減に資する資料として整理し、地震防災・災害軽減に関する研究者、技術者、事業者等の間での共有を図る

### 【2016年熊本地震】

- ・ 2日間間に震度7の地震が2度発生
- ・ 地震活動域が熊本県熊本地方から阿蘇地域、そして大分県別府地域に拡大
- ・ 震源近傍では、橋梁や道路等に大きな被害
- ・ 多くの箇所地すべり等の斜面災害
- ・ 起震断層に沿って明瞭な地表断層が確認
- ・ 断層変位が被害を誘発・拡大させた可能性

## 小委員会の構成

【活動期間】 平成28年10月～平成31年3月

【委員総数】 30名

【メンバー】

委員長 池田隆明（長岡技術科学大学）

副委員長 庄司 学（筑波大学）

幹事長 豊岡亮洋（鉄道総合技術研究所）

副幹事長 渡邊学歩（山口大学）

委員

小長井一男(横浜国立大学) 清田 隆(東京大学)

吉見 雅行(産総研) 岩田秀治(JR東海)

市村 強(東京大学) 梶田幸秀(九州大学)

秦 吉弥(大阪大学) 高橋良和(京都大学)

2

## 小委員会の構成

委員

松田泰治(九州大学) 後藤浩之(京都大学)

林 大輔(清水建設) 渡辺和明(大成建設)

橋本隆雄(国土舘大学) 岩坪 要(熊本高専)

北原武嗣(関東学院大学) 葛西 昭(熊本大学)

沼田宗純(東京大学) 若松加寿江(関東学院大学)

幸左賢二(九州工業大学) 丸山喜久(千葉大学)

大角恒雄(防災科研) 野口 聡(東急建設)

濱野雅裕(IH日本技術開発) 伊藤 雪(林研)

大越靖広(熊谷組) 荒木功平(山梨大学)

※順不同

3

## 平成28年度の活動概要

- 1)委員会・WG活動等
  - ・ H28第1回委員会（キックオフ会議）  
10月17日金沢歌劇座
- 2)行事等
  - ・ 特になし
- 3)出版物等
  - ・ 2016年熊本地震被害調査報告書（執筆）
- 4)小委員会活動補助費決算報告
  - ・ 配分額：10万円
  - ・ 支出額：7.954万円（交通費および写真使用料）
- 5)その他
  - ・ 平成29年度重点研究課題への応募（採択）

## 2016年熊本地震被害調査報告書

### 目的

多くの研究者，研究機関が行われた調査・分析・検討結果を集約し，貴重な資料としてアーカイブする

### 委員会横断

- ・ 地震工学委員会
- ・ 地盤工学委員会
- ・ トンネル工学委員会
- ・ 水工学委員会
- ・ 土木計画学研究委員会
- ・ 西部支部
- ・ 民間企業

### 執筆形態

- ・ 章(節)リーダーの選任

## 2016年熊本地震被害調査報告書

### 目 次

1. 被災地域の概要	吉見 雅行(産業技術総合研究所)
2. 地震と地震動	吉見 雅行(産業技術総合研究所)
3. 地盤の被害	清田 隆(東京大学)
4. 道路橋梁の被害	葛西 昭(熊本大学)
5. 道路トンネルの被害	蔣 宇 静(長崎大学)
6. ダムの被害	野村 英雄(基礎地盤工学研究所)
7. 港湾施設の被害	野津 厚(港湾空港技術研究所)
8. 鉄道施設の被害	豊岡 亮洋(鉄道総合技術研究所)
9. ライフラインの被害	丸山 喜久(千葉大学)
10. 積石構造物の被害	橋本 隆雄(国土舘大学)
11. 河川構造物の被害	大本 照憲(熊本大学)
12. 災害対応	大角 恒雄(防災科学技術研究所)
13. 大学の対応・活動	松田 泰治(熊本大学/九州大学)

## 2016年熊本地震被害調査報告書

### 目 次

3.1 斜面	鈴木 素之 (山口大学) 荒木 功平 (山梨大学)
3.2 宅地盛土	清田 隆 (東京大学)
3.3 液状化	若松加寿江 (関東学院大学)
3.4 陥没	小長井一男 (横浜国立大学)
3.5 道路	末次 大輔 (佐賀大学)

# 2016年熊本地震被害調査報告書

## 発行形態

- ・印刷
- ・DVD（PDF）

## 出版形態

- ・土木学会からの出版  
（5/12の理事会承認済）

## 出版時期

- ・平成29年10月

## 定価

- ・未定

# 平成29年度の活動計画

## 1)委員会・WG活動等の予定

- ・小委員会を2回開催予定

## 2)活動内容

- ・熊本地震被害調査報告書の出版
- ・熊本地震に関する継続調査
- ・平成29年度重点研究課題への取り組み

## 2)行事等の予定

- ・特になし  
（熊本地震報告書の説明会を検討中）

## 3)出版物等の予定

- ・2016年熊本地震被害調査報告書（出版）

## 平成29年度重点研究課題

### 研究体制

池田 隆明	地震工学委員会
松田 泰治	地震工学委員会
梶田 幸秀	地震工学委員会
橋本 隆雄	地震工学委員会
矢部 正明	地震工学委員会
庄司 学	地震工学委員会
香川 敬生	地震工学委員会
蔣 宇静	トンネル工学委員会
鈴木 素之	地盤工学委員会
末次 大輔	西部支部
柿本 竜治	土木計画学研究委員会
円山 琢也	土木計画学研究委員会
大本 照憲	水工学委員会

10

## 平成29年度重点研究課題

### 研究課題名

2016年熊本地震における社会基盤・システム被害の追跡調査と検証

### 内容

- ・地震被害調査報告書の作成に取り組んでいるメンバーが中心となり、各分野における既往の地震被害の調査・研究活動を発展継続させる
- ・新たなデータを入手し、分析・解析・評価を行うことにより被害実態と被害原因を明らかにする
- ・今後発生する内陸直下型地震に対する災害軽減策を追求する

### アウトプット・アウトリーチ

- ・研究報告書
- ・平成30年度 全国大会研究討論会

11